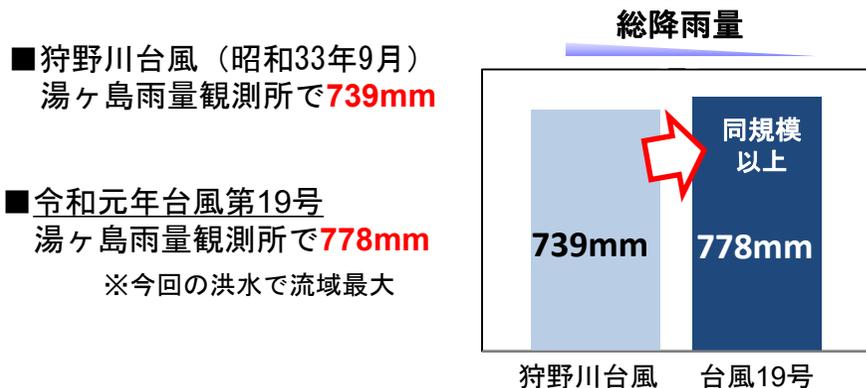


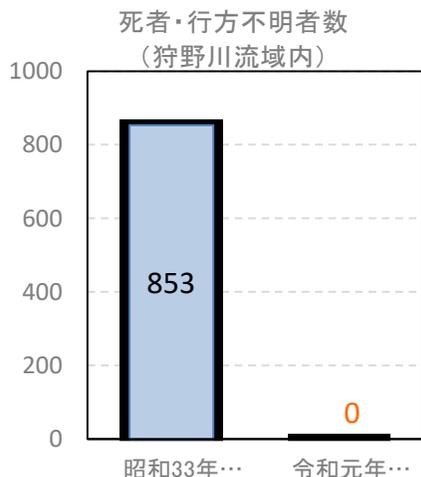
台風第19号における狩野川流域の整備効果

- 昭和33年狩野川台風では、**狩野川流域において死者・行方不明者853人、家屋浸水6,775戸の甚大な被害**が発生
- 狩野川放水路は**、昭和23年のアイオン台風を契機として昭和26年に着工し、**昭和40年に完成**。また、昭和33年の狩野川台風による土砂・洪水氾濫を契機として直轄砂防事業に着工し、**129基の砂防施設を整備**
- 台風第19号では、**砂防堰堤が上流からの大量の土砂流入を制御**するとともに、**狩野川放水路が狩野川本川からの氾濫を防止し、人的被害をゼロ、家屋の浸水被害も内水等による約1,300戸に抑制**

狩野川台風との比較（総雨量）



狩野川台風との比較（被害状況）



■**狩野川台風（昭和33年）**
死者・行方不明者：853人
堤防決壊：14箇所、
斜面崩壊箇所数：75箇所
家屋浸水：6,775戸

■**台風第19号（令和元年）**
死者・行方不明者：0人
堤防決壊：0箇所
斜面崩壊箇所数：14箇所
家屋浸水：約1,300戸※
※家屋浸水は内水等による被害（11月12日時点）

狩野川台風（昭和33年）の被害と今回の被害の比較

平常時

台風19号

狩野川放水路により、約1,000m³/sの洪水を分派し本川の流量を低減

⇒**狩野川本川の越水を防ぎ、人的・物的被害を軽減**

左図：狩野川台風(S33)による被害(伊豆市)

右図：砂防堰堤が下流域への土砂流出を抑制(伊豆市筏場)

完成した砂防堰堤が土砂を捕捉

狩野川放水路 昭和40年完成

狩野川水系直轄砂防砂防施設129基を整備

出典：IKONOS (H13撮影) をもとに作成